



平成18年2月7日

株式会社ライブドア
代表取締役 熊谷史人
(証券コード4753 東証マザーズ)
問い合わせ先
経営企画管理本部担当執行役員副社長 落合紀貴
(TEL 03 - 5788 - 4753)

社内調査に関するお知らせ

平成18年1月16日に、株式会社ライブドア（以下「LD」）及び株式会社ライブドアマーケティング（以下「LDM」）が、東京地方検察庁特別捜査部および証券取引等監視委員会の捜索・押収を受けて以降、各種報道機関において連日報道されております。当社では平成18年1月17日より関係事実の調査、把握に努めておりますが、多数の資料が押収されたため、少なからず事実を把握することが困難な部分もございます。そのような状況の中で、現時点の調査結果について下記の通りお知らせいたします。

記

1：東京地方検察庁特別捜査部及び証券取引等監視委員会の捜索・押収の被疑事実について

当社が把握した限りにおいては、当社関係者4名が逮捕された件に関しては、当社関係者が、当初よりLDMの株価を高値につり上げ、LDが支配するV LMA 2号投資事業組合を介してLDMの株式を売却して利益をLDにつける意図で、概ね以下の行為を行ったとのことで、証券取引法違反の被疑者とされているものと現状把握しております。

<行為>

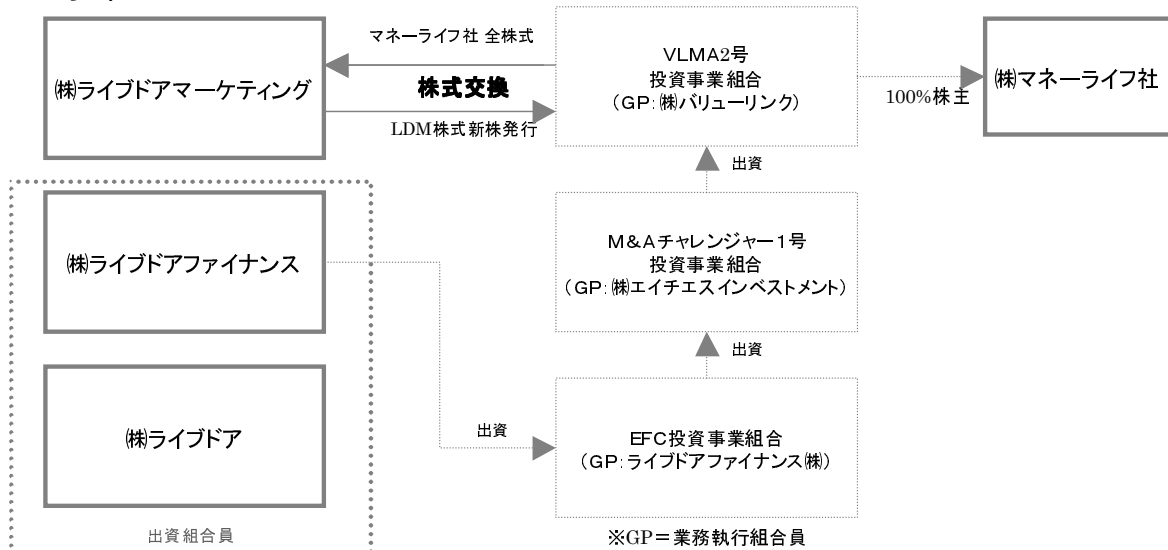
- LDが支配するV LMA 2号投資事業組合を介して既を買収済みの株式会社マネーライフ社（以下「ML」）を、当時LDの子会社であったLDMと株式交換によりLDMの完全子会社化した。
- MLを子会社化する際、MLの企業価値を過大評価し、MLの実際の企業価値よりも過大なLDM株数をV LMA 2号投資事業組合に対し発行させてLDに取得させた。
- LDMが平成16年度第3四半期において経常損失及び当期純損失が発生していたのに、経常利益及び当期純利益が生じた旨虚偽の業績発表を決算短信で行った。
- LDMがMLを買収する際、株式交換比率の基に、事業への相乗効果の見込み、資本的人的關係の点に関して虚偽の情報を開示した。

尚、当社としては関係当局の捜査に全面的に協力をしており、嫌疑のより具体的な内容に関しては、公訴が提起された段階で明らかになるものと考えております。

2. 上記の一連の取引に関して

- ① 一連の投資事業組合組成の経緯・時期・目的、組成主体（LD・LDグループ会社が入っているか否か）及び業務執行組合員の概要（設立国、本店所在地、設立年月日、当時及び現在の代表者名・役員名、当時及び現在の資本金、当時及び現在の運用受託ファンド数・金額）、並びに、組成主体・業務執行組合員とLD・LDグループ会社との関係（人的・資本的、その他の関係）

<ご参考>



■EFC 投資事業組合に関して

- ・組成経緯 当事者がおらず、当該事項に関する資料が無いことなどから、現在把握出来ておりません。
- ・組成時期 2003年11月1日
- ・組成主体 エッジファイナンスアンドコンサルティング(株)(2004年9月にライブドア証券(株)に吸収合併しております)
- ・業務執行組合員の概要
 - 設立国： 日本
 - 本店所在地： 渋谷区
 - 設立年月日： 2000年4月
 - 代表者名： 羽田寛 (当時)
 - 役員名： 堀江貴文 宮内亮治 中村長也 山崎徳之 (当時)
 - 運用受託ファンド数： 当該事項に関する資料が無いことなどから、現在把握出来ておりません。
 - 運用主体/業務執行組合員とLDとの関係： 100%子会社 (当時)

■M&A チャレンジャー1号投資事業組合に関して

- ・組成経緯 当事者がおらず、当該事項に関する資料が無いことなどから、現在把握出来ておりません。



- ・組成時期 2003年11月17日
- ・組成主体 (株)エイチ・エス インベストメント
- ・業務執行組合員の概要

設立国：日本

本店所在地：渋谷区

設立年月日：2002年7月

代表者名：野口英昭(当時)(小山大祐(現在))

役員名：不明

運用受託ファンド数：不明

運用主体/業務執行組合員とLDとの関係：当時の代表者が、当社子会社である株式会社キャピタリスタ(2003年6月にエッジファイナンスアンドコンサルティング株式会社へと社名変更)の元代表取締役であった(2002年7月辞任)。

■VLMA 2号投資事業組合に関して

業務執行組合員が(株)バリュー・リンクという事以外は、資料が無いことなどから、現在把握出来ておりません。

② 資本上位・下位関係を有する3投資事業組合が組成されている理由

当事者がおらず、資料が無いことなどから、現在把握出来ておりません。

③ 一連の投資事業組合へのLD及びLDグループ会社並びにこれら関係者の直接・間接の出資の金額・割合

■EFC 投資事業組合：LD 100万円 LDF 8億円

■M&A チャレンジャー1号投資事業組合：LDF 8億円 HIS インベストメント 100万円

■VLMA 2号投資事業組合：資料がなく現在把握出来ておりません。本件については、引き続き調査しております。

※投資組合に関しては、業務執行組合員が実質的な運営を行います。

以上